

平成 28 年度

市政運営方針

和泉市長 辻 宏 康

# 平成 28 年度 市政運営方針

## 《 はじめに 》

本日、平成 28 年和泉市議会第 1 回定例会開催にあたり、市政運営の基本方針と主要施策の大綱につきまして、私の所信の一端を申し述べ、議員並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願いする次第でございます。

昨年、政府は、「アベノミクスは第 2 ステージに入った」と宣言し、新しい「3本の矢」を発表しました。第 1 の矢は「希望を生み出す強い経済」で、名目 GDP を 600 兆円にすることを目標としています。第 2 の矢は「夢を紡ぐ子育て支援」で、これによって希望出生率 1.8 を実現したいとし、第 3 の矢は「安心につながる社会保障」で、介護離職をゼロにするとの目標が掲げられています。

また、大阪府では、副首都推進本部を設置し、東西二極の一極として「首都・東京」とともに我が国の成長をけん引し、非常時には首都機能のバックアップを図る「副首都・大阪」の確立に向けて、オール大阪での取り組みを進めるとしています。

そして、和泉市においては、「和泉再生プラン」の後継計画として、

社会情勢の変化に柔軟に対応し、将来にわたり持続的に発展するまちをめざす「和泉躍進プラン（案）」を策定し、「まちづくり」、「財政健全化」、「組織・人づくり」の取り組みを進めるとともに、和泉府中駅前再開発事業の完了、元大阪府立横山高等学校のアスベスト問題の解決、ホテル・旅館の誘致に関する条例制定、市立病院新病院建設事業者の決定、新庁舎整備にかかる住民投票の実施など、本市の将来のまちづくりに大きく影響する課題に真摯に向き合い、ひとつずつ丁寧に取り組んでまいりました。

平成 28 年の干支は「丙申（ひのえさる）」であり、明らかを意味する「丙」と、果実が成熟して固まっていく状態を表す「申」が合わさり、努力してきたことが実を結ぶ年であるとされています。本年は、これまで取り組んできた「まちづくりの種」が芽を出し、花を咲かせ、本市のさらなる発展につながる実となるよう、全力で市政運営に取り組んでまいります。

平成 28 年度は、市政運営 2 期目の実質的な総仕上げの年度であると認識しております。初心である「信頼感」「躍動感」「親近感」の 3 つの「感」を信条としながら、「和泉躍進プラン（案）」をはじめ、昨年末に策定した「和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、本年

策定予定の「第5次和泉市総合計画」に基づき、本市が将来にわたり持続的に発展するための「躍進のまちづくり」に取り組んでまいります。

また、懸案である庁舎整備に関しましては、去年の住民投票及び移転議案の審議結果を受けまして、現地での建替えを基本方針として、多くの市民や議員の皆様からいただいたご意見も踏まえたうえで、借地解消等の課題解決に向けて全力で取り組んでまいります。

### **【市制施行 60 周年について】**

本年は、市制施行 60 周年を迎え、「還暦」にあたる大きな節目の年となります。本市は、大規模な宅地開発や和泉中央駅の開業などにより大きく発展し、市制施行時の3倍を超える人口を擁する都市に成長してきました。

本市のこれまでの発展を支えてこられた尊い先人の功績に敬意を表するとともに、次の時代を担う世代と一緒に新たなまちづくりの「芽生え」を培っていくことが大切であると考えております。

記念すべき節目の年を市民の皆様と一緒に祝い、そして、共に未来への第一歩を踏み出すべく、「萌えます いずみ」をスローガンと

して市制施行 60 周年事業を展開してまいります。

### **【和泉躍進プラン(案)について】**

冒頭に申し上げましたが、昨年 5 月、和泉市の「躍進」を実現するための道筋を示すべく「和泉躍進プラン（案）」を策定いたしました。

平成 28 年度におきましては、「和泉躍進プラン（案）」に掲げた取り組みを着実に推進し、足腰の強い安定した財政基盤の確立及び市民ニーズに的確に対応できる組織力と職員の力量向上に引き続き取り組むことにより、市民の皆様「躍進のまち」を実感していただけるよう、施策の充実を図ってまいります。

### **【地方創生について】**

「人口減少と地域経済縮小の克服」と「まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立」を基本的な考え方として、平成 27 年度からスタートした「地方創生」の取り組みにおいて、昨年 12 月、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、本市の「地方創生」の指針となる「和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定いたしました。

本市の総合戦略では、「定住志向の向上」と「交流人口の拡大」を基本方針としており、今後、その実現に向けて、地方創生交付金の活用を図りながら、「地方創生」に取り組んでまいります。

## 《 重点的な取り組み 》

国では、昨年11月に「一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策」が取りまとめられたところですが、本市におきましては、まずは、私が2期目の市政で掲げた「躍進のまちづくり」の実現に向けた取り組みを着実に進めてまいります。また、このことが、「一億総活躍社会の実現」及び「地方創生」につながるものと確信しております。

こうしたことを踏まえ、平成28年度におきましては、次の4点の項目について、重点的に取り組んでまいります。

1. 教育・生涯学習環境の充実
2. 出産・子育て支援体制の充実
3. 健康・福祉施策の充実
4. 安全・安心なまちづくり

## 【1. 教育・生涯学習環境の充実】

「教育環境の充実」としましては、はつが野地区に新設する施設一体型小中一貫校について、平成 29 年 4 月の開校に向けて整備を進めます。

また、中学校区を単位として、子どもの学力向上等をめざし、義務教育 9 年間を見通した教育の取り組みを進める小中一貫教育について、平成 29 年度の全校区本格実施に向け、平成 28 年度においては、新たに 3 中学校区で実施いたします。そして、この小中一貫教育の効果を最大限に発揮するための体制づくりとして、先進的な取り組みを担う教員の活動を支援する非常勤講師を配置します。

「生涯学習環境の充実」としましては、元大阪府立横山高等学校跡地に整備を進めている「和泉市総合スポーツセンター」について、第 1 期整備として、スタンドやナイター照明を完備した野球場を 7 月から供用開始します。

## 【2. 出産・子育て支援体制の充実】

「出産支援体制の充実」としましては、一人あたりの妊婦健康診査公費負担額を 9 万円から 12 万円に拡充し、妊婦の健康管理の充実

を図ります。

「子育て支援体制の充実」としましては、待機児童の解消を図るべく、4月に小規模保育所が開園するほか、認定こども園への移行に向けた施設整備補助を行うなど、保育の受入枠拡充に取り組みます。

また、保護者が就労等により、病気の子どもを自宅で保育することが困難な際、保護者に代わって保育を行う病児保育施設を開設するほか、留守家庭児童会（仲よしクラブ）について、10月をめどに開設時間を午後7時まで延長するなど、保護者が安心して子育てできる環境の充実に取り組みます。

### **【3. 健康・福祉施策の充実】**

「健康・福祉施策の充実」としましては、新病院建設について、平成30年4月の開院をめざして工事に着手します。

また、女性のがん罹患数が最も多い乳がんの検診費用について、自己負担を無料化し、受診率の向上を図ることにより、早期発見・早期治療につなげます。

そのほか、節目年齢の後期高齢者を対象に、口腔機能の低下や肺



炎等の疾病予防を目的とした歯科健康診査を実施し、健康保持、介護予防に取り組みます。

#### **【4. 安全・安心なまちづくり】**

「安全・安心なまちづくり」としましては、街頭犯罪の発生抑止を目的とする防犯カメラの設置を促進するため、町会・自治会に対する設置補助の継続、維持管理補助の創設を図るほか、市においても、犯罪発生件数の多い区域への設置に取り組みます。

また、はつが野地区において、中南部地区の新たな防災拠点となる「(仮称) 中央消防署」の整備に着手するなど、消防・救急体制の充実を図るほか、小中学校体育館の非構造部材にかかる耐震改修に計画的に取り組み、学校の安全対策を促進します。

#### **《 市制施行 60 周年事業 》**

市制施行 60 周年事業として、次の事業を実施してまいります。

○これまでの発展を支えてこられた先人に感謝するとともに、本市の今後のさらなる躍進を期して、8月28日、和泉シティプラザ弥生の風ホールにおいて記念式典を開催します。

- 後世に引き継いでいくことが必要な本市の文化・芸術・技術等に優れた方を「人間市宝」として認定します。
- 「萌える・芽生え」をキーワードに、「書の詩人 相田みつを」の世界を通して生きる力の芽生えや命の尊さを表現する展覧会を開催します。
- 本格だんじり所有町会による「(仮称) 和泉だんじり大集合」に対して支援を行い、伝統文化の保存と発展に寄与します。
- NHKラジオ公開収録歌謡番組「ふるさと自慢うた自慢」を開催し、本市の魅力を発信します。
- 高齢者を対象とする「歌謡ショー」を開催し、生きがいと誘い合いによる地域の輪づくりに取り組みます。
- 市内 21 小学校の児童の参加により、特産品の I-Pearl を用いた巨大モニュメント「(仮称) Hand made Izumi」を作成します。
- いずみいのちの森事業として、黒鳥山公園「千本桜構想」のキックオフイベントを開催します。
- 久保惣記念美術館において、俵屋宗達などの日本絵画や浮世絵版画、西洋の版画を中心とした第六次久保惣コレクション特別展「響きあう美～宗達・北斎・ロートレック～」を開催します。

○そのほか、和泉市商工まつり、いずみの国グルメグランプリ、和泉弥生ロマン・ツーデーウォーク、信太山クロスカントリー大会 in 大阪和泉、IZUMI キッズスポーツフェスティバル、和泉市民スポーツ観戦デー、高校軽音フェスタ、歴史ウォークにおいて、イベント内容の充実を図ります。

## 《 平成 28 年度に取り組む主要な事業 》

次に、平成 28 年度に取り組むその他の主要な事業について、新たな事業や拡充した事業を中心に、その概要をご説明いたします。

なお、説明順につきましては、平成 28 年度が計画開始年度となる予定の第 5 次和泉市総合計画を策定中のため、昨年と同様、第 4 次和泉市総合計画の体系に沿ってご説明いたします。

### 1. みんなの力を生かし地域が活性化するまち

(行政経営の仕組みづくり)

○久保惣記念美術館を中心とする地域を「魅力創出重点エリア」と位置付ける「和泉市ミュージアムタウン構想」の策定に取り組み、まちのブランド化と活性化を図ります。

○市独自のラジオ番組制作に引き続き取り組み、定住・来訪促進に向けて本市の魅力を発信します。

○市有公共施設のイメージアップやPR効果による利用率の向上及び新たな財源確保を目的に、施設の名称を命名する権利を民間企業等に付与する「ネーミングライツ」の導入に取り組みます。

(協働社会・地域コミュニティの仕組みづくり)

○地域力の強化を図るため、住民が自分たちの地域について考える「市民ラウンドテーブル」を開催するほか、町会・自治会への加入促進に向けたリーフレットの配布に取り組むなど、地域コミュニティの醸成に努めます。

(市民の視点に立った行政サービスの仕組みづくり)

○携帯電話の利用が困難な地域の電波改善を図るため、基地局整備に取り組みます。

○全国のコンビニエンスストアにおいて、住民票や所得証明書等の各種証明書の交付を受けられる、いわゆる「コンビニ交付」を4月から実施します。

(行政内部管理の仕組みづくり)

- 長期的視点に立って適切に公共施設の管理を行うため、外部有識者等の参画を得ながら、公共施設の計画的な管理手法や最適な配置のあり方等について検討を進めるとともに、その指針となる計画の策定に取り組みます。
- 新公会計制度に対応した財務会計システムの更新に取り組みます。
- 和泉躍進プラン（案）に基づく「がんばる職員が報われる制度」構築の一環として、人事評価制度の見直しを図り、人材の育成や風通しの良い職場環境づくりに取り組みます。
- クールビズ期間中に着用する制服の導入を進め、来庁者への接遇向上や職員間の連帯感の醸成、プロ意識の高揚を図ります。

## **2. 多世代が豊かな心を育む学びのまち**

(出産・子育て環境づくり)

- ふたば幼児教室の心理判定員が行っている保育所への巡回指導を認定こども園等にも拡大し、保育士等への指導の充実を図ることにより、発達に遅れや気がかりのある子どもに対する支援体制の強化を図ります。

(学校環境づくり)

- 平成 27 年 11 月に策定した「和泉市教育大綱」に掲げた基本理念と基本方向の実現に向け、その具体的な取り組みを示す「和泉市教育振興基本計画」に基づき、教育委員会点検・評価と連動した PDCA サイクルのもと、教育施策の充実・改善を図ります。
- 効率的かつ安定した学校給食の運営を確立し、自校調理方式を継続していくことを目的に導入する給食調理業務委託について、石尾中学校でスタートします。
- 小中学校において、新規の校務支援システム導入やシステム端末の更新を行い、ICT を活用した授業内容の向上や校務の効率化を図るとともに、児童・生徒一人ひとりに応じた「わかる授業づくり」を推進します。
- 子どもの体力向上に向け、「継続して実施する短時間運動」を推進するための条件整備を図り、児童・生徒の日常における運動習慣の定着に取り組みます。
- スクールソーシャルワーカーの活動時間を拡充し、子どもの教育環境を整え、子どもが抱える課題に対する支援体制の充実を図ります。

○個別の支援が必要な児童・生徒に対して、一人ひとりの障がいの程度や状態に応じたきめ細やかな支援を行うため、学校に配置する介助員と特別支援教育支援員の増員を図ります。

○各学校が作成した「学力向上プラン」を推進するため、教育委員会の学校支援チームによる取り組みを強化するほか、元教員や学生等のボランティアを「学力向上サポーター」として位置付け、放課後学習の支援人材として活用するなど、子どもの学力向上に向けた取り組みを一層強化します。

(歴史文化・芸術環境づくり)

○池上曾根遺跡の史跡指定 40 周年及び史跡公園開園 15 周年を記念して、「いずみの高殿」前の御柱の復元に取り組みます。

(生涯学習・スポーツ環境づくり)

○市民の学習機会の創出と、学習の成果を地域社会に還元できる人材育成のための総合的な生涯学習の場として、「いずみ市民大学」を新設します。

○和泉図書館において、乳幼児のための図書館開放時間として実施

している「すくすくタイム」を他館でも実施し、子どもが本に触れ合う機会の創出と親子交流の促進を図ります。

### 3. 生涯を通じて健康でいきいきと生活できるまち

(健康・医療環境づくり)

○市立病院において、救急医療の充実を図るなど、引き続き医療水準の向上に取り組みます。

(高齢者・障がい者福祉環境づくり)

○認知症高齢者の増加に対応するため、第6期介護保険事業計画に基づき、認知症対応型通所介護サービス事業所の開設を支援します。

○障がい者相談支援センターを1か所増設し、障がい福祉サービスの利用等について、身近な地域で安心して相談を行うことができる体制の充実を図ります。

○基幹相談支援センターの機能強化により、地域や関係機関等とのネットワーク化を図り、障がいのある方が住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けられる支援体制の充実に取り組みます。



#### 4. 市民が安全で安心して暮らせるまち

(防火・防災体制づくり)

- 防災リーダーの育成や自主防災組織の拡充に取り組み、地域の防災意識の向上と防災活動の活性化を図り、地域防災力強化に努めます。

(適正な土地利用環境づくり)

- 「市街化調整区域の新たな開発許可制度」の運用開始による南部地域等における住宅建設の規制緩和のほか、国道 170 号沿道の産業立地に向けた制度整備を進め、地域の活性化と定住促進につながるまちづくりに取り組みます。

(公園・緑地環境づくり)

- 未着手・未整備となっている都市計画公園のあり方を見直すため、現況調査等を行います。
- 榎尾川公園について、平成 30 年 4 月の新病院開院との同時オープンに向け、整備工事に着手します。
- 信太山丘陵市有地の保全・活用について、公民協働による取り組

を進めるとともに、具体的な整備方針やゾーニングについて検討を行います。

(道路・交通安全環境づくり)

- 繁和橋架替事業について、仮橋が完成し、迂回路への切り替えを終えたことから、既設橋梁の撤去工事に着手します。
- 通学路におけるグリーンベルトの設置を推進するほか、はつが野地区に建設を進めている小中一貫校への通学路の安全対策を講じるなど、児童・生徒が安全に通学できる環境づくりに努めます。
- 道路台帳システムの構築に取り組み、道路管理にかかる情報の一元化と事務の効率化を図ります。
- 緊急交通路として指定されている24路線について、道路舗装修繕計画に基づき、維持補修を推進します。

(水道利用環境づくり)

- 11月をめどに「(仮称) 仏並配水場」の運用を開始し、南部地域の安定給水に努めます。

## 5. だれもが環境にやさしい生活を営んでいるまち

(生活環境維持・改善の仕組みづくり)

○泉北クリーンセンターに併設する「資源化センター」の竣工により、構成3市連携のもと、さらなる資源ごみの分別強化に取り組み、ごみの減量とリサイクルの促進を図ります。

○まちの良好な生活環境の維持と動物愛護の観点から、所有者が不明な猫の繁殖を抑制するため、不妊・去勢手術にかかる費用の一部を助成します。

(水辺環境・下水道利用環境づくり)

○下水道全体計画区域外の地域において、PFI方式による浄化槽整備を推進するほか、既設浄化槽の寄附を受け付け、浄化槽の適正管理を図ることにより、河川等の水質保全に努めます。

## 6. 個性を生かした産業と働く人々の活気のあるまち

(商工観光業の活力環境づくり)

○地域課題の解決に取り組む事業者を支援するため、新たに「コミュニティビジネス事業支援補助金」を創設し、中小企業の振興と

住みよい地域づくりを推進します。

- 各種イベントへの支援やイルミネーションの設置などにより、市内商店街の魅力創出や集客力の向上に取り組みます。
- 市内ものづくり企業を対象に、「産・学・官」連携によるセミナーや交流会を実施し、新技術の開発や新製品の事業化を支援します。
- 和泉市観光振興戦略プランに基づき、観光ホームページの改良・充実を図るほか、市内観光施設就業者を対象に接客マナー等の「おもてなし」について学ぶ「観光人材育成セミナー」を開催し、観光客の受入れ体制の強化を図ります。

(農林業の活力環境づくり)

- 地域農業活性化の拠点となる「(仮称)和泉市農業振興研究施設」の基本計画策定に取り組みます。
- 「和泉の木で住まいづくり事業補助金」の上限額を増大し、いずもくの利用促進を図ります。

(雇用・就労環境づくり)

- 若者や女性の就労支援の充実を図るほか、育児や介護等でフルタ

イム勤務が困難な方を対象に、ICT を活用した「在宅ワーク」等の新しい働き方の提案に取り組みます。

## **7. すべての人が個人として輝き人権が尊重されるまち**

(人権文化豊かな社会づくり)

○外国人市民が安全・安心に生活を送ることができるよう、多言語版防災・生活ガイドブック（英語版、中国語版、韓国・朝鮮語版）の作成に取り組みます。

(男女共同参画社会づくり)

○「第3期和泉市男女共同参画行動計画」に基づき、女性の再就職支援として「チャレンジ支援講座」を開催するほか、DV 防止対策の推進を図ります。

## **《 結びに 》**

以上が、平成 28 年度市政運営方針でございます。

室町時代、能を大成した世阿弥は、「花鏡」という伝書に、「初心忘るべからず」という言葉を書き残しています。

この「花鏡」の結びには、「しかれば当流に万能一徳の一句あり。初心忘るべからず。この句、三ヶ条の口伝あり。是非の初心忘るべからず。時々の初心忘るべからず。老後の初心忘るべからず。この三、よくよく口伝すべし」とあります。

今では、「初心忘るべからず」という言葉は、「初めの志を忘れてはならない」という意味で使われていますが、世阿弥にとっての「初心」とは、人生の試練に遭遇した時の心のあり様のことで、「初心忘るべからず」とは、自分の未熟さや無能力さを受け入れながら、新しい事態に挑戦していく心構えを忘れず、どのような困難に陥っても、自ら進んで新しい試練に向かっていかねばならないということです。

私は、平成8年に市議会議員に初当選させていただき、政治家として歩み始めてから、今年で20年の節目を迎えました。紆余曲折の道のりではありましたが、多くのご支援やご指導をいただいたお陰で、いくつもの困難を解決することができたと感謝しております。これからも「人と人」のつながり、「人と地域」のつながりを大切にしながら、確かな歩みを進めていこうと気持ちを新たにしております。

初心を忘れず、「公直無私」の思いを胸に、和泉市の輝かしい未来を創造するため、職員とともに全身全霊で取り組んでまいりますので、何卒、議員並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。